グローバル REIT ウィークリー

Global REIT Weekly

2026年11月第1週号（2026年11月4日発行）

amova アモーヴァ・アセットマネジメント　アセットマネジメント(am)をムーヴ(move)する

ご参考資料

先週（10月26日～10月30日）のグローバルREIT市場の動き

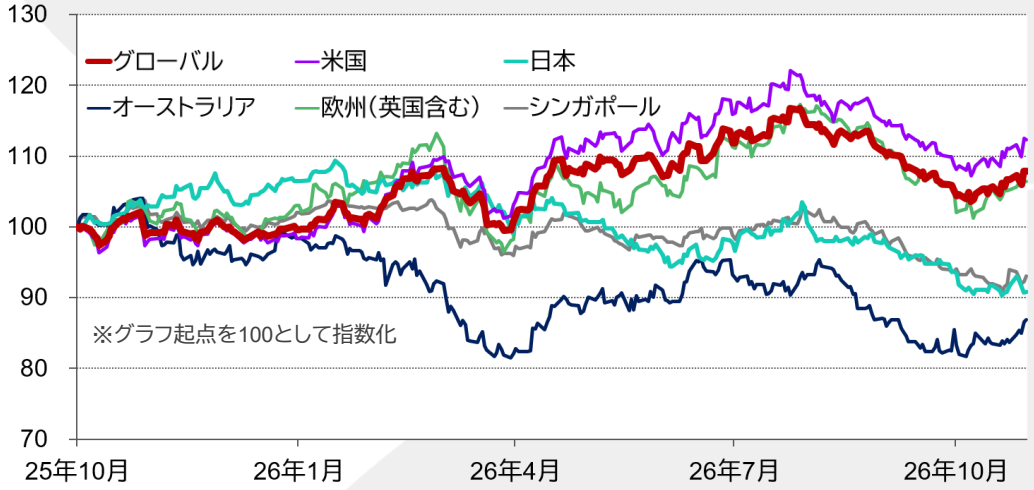
先週のグローバルREIT市場は前週末比で上昇しました。AI関連企業の設備投資を巡る懸念が強まる中、REITを選好する動きが拡がりました。

- 米国REITは前週末比で上昇しました。2026年7-9月期決算が好調なスタートを切ったことなどが好感されました。加えて、AI関連企業の設備投資に対する懸念などを背景に、実物資産を保有し、事業の陳腐化リスクの低い「HALO（ヘイロー）銘柄」が注目される中、REITにも買いの動きが拡がりました。セクター別では、データセンターや個人向け倉庫などが上昇した一方、住宅やヘルスケアなどが下落しました。
- アジア太平洋地域はまちまちの展開となりました。日本およびシンガポールREITは前週末比で下落、香港およびオーストラリアREITは上昇しました。日本REITは、不動産・マンション価格の高騰抑制策が本格化するとの見方が拡がり、不動産関連銘柄の株価が下落する中、REITも軟調となりました。シンガポールREITは、9月の製造業生産の伸びが大幅に減速したことへの懸念などが重石となりました。香港REITは、中国当局による支援的な政策への期待が拡がる中、上昇しました。オーストラリアREITは、前週に価格が大きく下落したデータセンター運営企業について、財務上の懸念が後退したことなどが好感されました。

各国・地域のREIT価格の推移

期間：2025年10月初～2026年10月30日

※休場の場合は、直前の営業日のデータを使用



各国・地域別のREIT市場および為替の動き

※2026年10月30日時点（1週間前＝10月23日、3カ月前＝7月30日、6カ月前＝4月30日、1年前＝2025年10月30日、3年前＝2023年10月30日）なお、休場の場合は、直前の営業日のデータを使用

国・地域	先週末	騰落率（%）				
		週間	3カ月	6カ月	1年	3年
グローバル	850.92	1.2	▲ 6.3	▲ 0.9	8.9	49.3
米国	2,151.82	1.2	▲ 5.8	▲ 0.1	14.7	57.4
カナダ	1,448.02	▲ 1.7	▲ 8.7	▲ 4.6	5.6	34.1
欧州（ユーロ圏）	663.92	0.6	▲ 13.3	▲ 8.2	▲ 1.8	44.7
英国	90.51	1.6	▲ 4.7	11.7	10.7	34.6
日本	543.48	▲ 1.0	▲ 11.6	▲ 10.1	▲ 11.9	5.6
香港	677.86	4.3	▲ 0.0	3.5	2.8	31.9
シンガポール	720.47	▲ 0.9	▲ 9.3	▲ 6.4	▲ 9.0	16.7
オーストラリア	1,193.62	3.8	▲ 6.3	▲ 2.6	▲ 13.1	42.0

国・地域	先週末	騰落率（%）				
		週間	3カ月	6カ月	1年	3年
米ドル	157.56	0.4	▲ 1.2	0.6	2.2	5.7
カナダ・ドル	112.72	0.6	▲ 1.0	▲ 2.3	2.3	4.5
ユーロ	175.78	0.0	▲ 4.4	▲ 4.3	▲ 1.4	11.1
英ポンド	211.00	0.6	▲ 1.8	▲ 1.0	4.1	16.3
香港ドル	20.09	0.4	▲ 1.2	0.4	1.2	5.4
シンガポール・ドル	123.29	0.5	▲ 1.0	0.2	4.0	12.8
オーストラリア・ドル	110.80	0.4	▲ 1.2	▲ 1.7	9.7	16.6

※為替の騰落率がプラスの場合は各通貨高、マイナス（▲）の場合は円高
※為替レートは、原則としてニューヨークの17時時点のものです。

ラサール インベストメント マネージメント セキュリティーズからの情報および信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成
※当資料中のREIT価格については、S&P REIT指数のグローバルおよび各国・地域別指数（現地通貨ベース・トータルリターン）のデータを使用しています。
※各指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、その提供元に帰属します。
※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。